

遠隔地間のリアルタイム同期をシンプルに実現

SkeedSync



(スキードシンク)

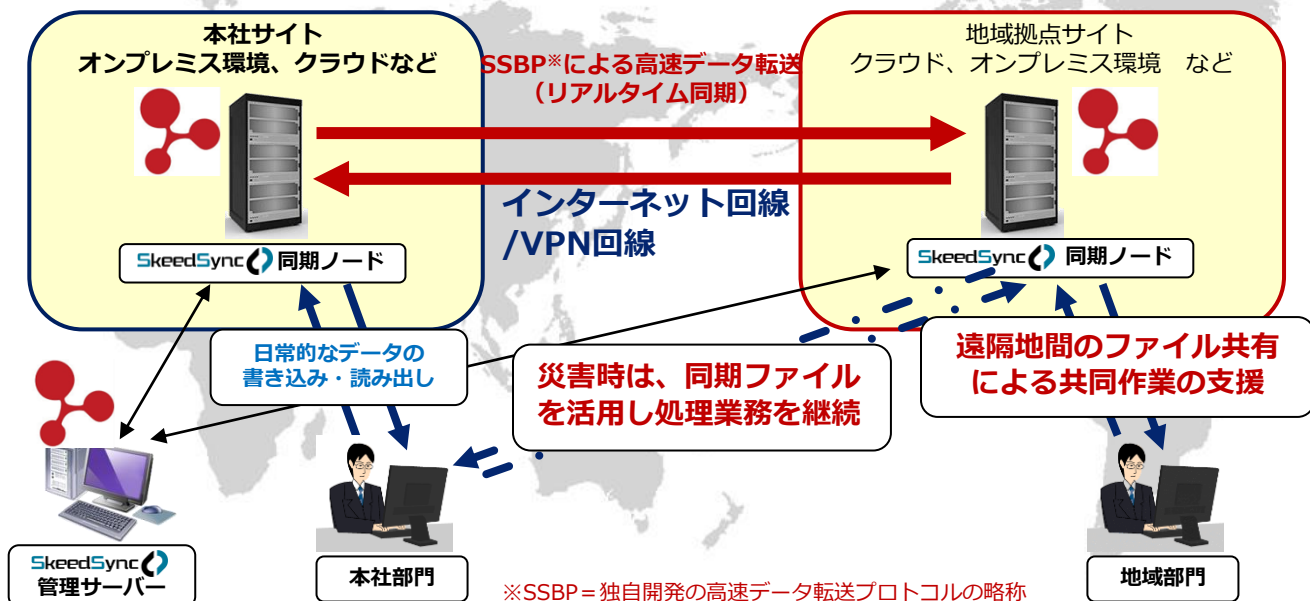
大容量ファイルを
遠隔地に素早く
同期します

直感的な操作画面で
誰でもカンタンに
運用できます

普段お使いの
インターネットで
安心安全に転送

ご利用
イメージ

- ✓同期元ノードのディレクトリ変更を自動検知すると高速に同期し、国内外のグループ企業や拠点間での共同開発や設計業務を支援
- ✓被災時には遠隔地のサイトの同期ファイルを活用し事業を継続



高速でセキュアなインターネットを実現する4つの特長

特長① 高速性

BCP/DRで求められる遠隔地間のリアルタイム同期によるレPLICATIONをオープンインターネットで高速転送

- 独自の高速ファイル転送プロトコル SSBPにより、遅延の大きい長距離や低い回線品質環境でも高速に同期。
- 高速転送制御可能な回線帯域は100Mbps、1Gbpsの2タイプがあり、広帯域な回線にも対応。

特長② 公平性

バックアップ転送実行中でも他の業務の通信トラフィックに影響を与えず、空き帯域を使い高速転送

- 独自の動的帯域制御機能により、同一回線上の通信トラフィックを検知し帯域を自動的に調整し高効率に転送。
- オンタイムでも他の業務で利用される通信トラフィックと共存しつつ、遠隔地バックアップを高速に実行。

特長③ 安全・確実性

ビジネスが求めるセキュアさ、送達の確実さの確保とデータ欠損の防止

- 暗号アルゴリズムにより送信対象データの完全性を確保し、UDPの不完全性を排除します。
- 独自プロトコルにより通信中の誤りやデータ欠落を修正し、到達完全性を保障します。

特長④ 利便性

パーミッション同期やリアルタイムな同期実行スケジュール機能、WEB管理機能など使い易さを追求

- ファイルのアクセス権限などパーミッション情報も同期
- 同期処理の実行をスケジュール機能で柔軟に設定可能。
- WEB管理機能でユーザー管理、各種モニタリング機能をWEB画面のGUIから提供。

製品機能一覧

機能名称		説明
主な機能	WEB管理機能	ユーザー管理機能、各種モニタリング機能（同期ノード動作状況、同期処理実行状況、システムログなど）をWEB画面のGUIから提供します。
	高速同期機能	独自プロトコルにより、遅延の大きいネットワーク環境下でも帯域を有効に活用して高速に同期することができます。
	動的帯域制御*	同期を行いつつ回線状況に合わせて使用帯域を制御し、他の通信の阻害を防止します。
	差分同期機能	前回同期時からのファイル変更差分を検出し、次回同期を効率的に実行します。
	同期実行スケジュール機能	同期処理を実行するタイミングを柔軟に設定することができます。（リアルタイムな同時処理も設定可能）
	パーミッション同期機能	ファイルの内容データに加え、ファイルに設定されているオーナーやアクセス権限も同期します。（同一OS間）
	暗号化機能	公開鍵暗号方式と秘密鍵暗号方式を組み合わせ、セキュアな同期を実現します。
	同期端末制限機能	ログインユーザーごとに、同期対象にすることのできる端末を限定することができます。
	メール通知機能	「同期開始時」「同期完了時」「エラー発生時」それぞれのタイミングで任意のあて先にメール通知ができます。

※日本国特許第5152940号、米国特許No.US9,590,912 B2、欧州特許EP2753027

操作画面

■直感的で一覧性を重視した操作画面

■3ステップで同期シナリオを完了する簡便性



標準価格

使用上限帯域*	最少基本構成価格例
100Mbps/1Gbps	SkeedSync同期ソフトウェア（100Mbps）×2+ SkeedSync管理ソフトウェア（100Mbps）×1年サブスクリプション= ¥600,000（保守料込・税別）

*使用上限帯域とは高速ファイル転送を行うための制御帯域の上限です。
価格、サポートなど詳しくは株式会社Skeed営業担当（03-5487-1033）又は販売パートナー（<http://skeed.jp/partner/list/>）にお尋ねください。

推奨環境

項目	環境	
同期ノード側環境	HW	CPU（Intel Xeon プロセッサ E5-2603v3 相当以上）・メモリ（実行時空き3GB以上）
	OS	Windows 8.1/10/11, Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019, Red Hat EL 7/8, CentOS 7/8
管理サーバー側環境	HW	CPU（Intel Xeon プロセッサ E5-2603v3 相当以上）・メモリ（実行時空き2GB以上）
	OS	Windows 8.1/10/11, Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019, Red Hat EL 7/8, CentOS 7/8
	ブラウザ	Mozilla Firefox・Safari・Google Chrome Microsoft Edgeの各最新バージョン
同期ノード・管理サーバー共通環境	Oracle Java Runtime Environment 8又はOracle Java Development kit 8	

- Intel, Xeonは、米国およびその他の国における、Intel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Windows Server, Windows, Microsoft Edge, Microsoft Internet Explorer は米国Microsoft Corporationの米国その他の国における登録商標又は商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hatは、米国Red Hat, Inc. ならびにその子会社の登録商標です。
- Mozilla Firefoxは、米国Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safariは米国その他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google Chromeは、Google Inc.の登録商標または商標です。
- Oracle java Runtime Environment, Oracle java Development KitはOracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 記載の製品名は各社の登録商標または商標です。



販売元：
株式会社Skeed
〒153-0063 目黒区目黒1-6-17 Daiwa目黒スクエア5F
TEL：03-5487-1032 FAX：03-5487-1037
<https://www.skeed.jp> E-mail：ssb@skeed.co.jp

掲載情報は2022年8月時点のものであり、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

©2022Skeed Co. Ltd. All rights reserved.